

目標達成計画

作成日: 平成 28年 4月 17日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	6	身体拘束をしないケアの実践では職員間で話し合ってるが入居者一人一人に合ったケアの対応が不十分であり検討が必要	職員が統一した対応が出来、入居者一人一人の訴えにゆっくり傾聴し落ち着いた住みやすい空間を作る。	帰宅願望があればなぜ帰りたいのかを見つける。例えば家族のことが心配なのか食事のことが気になるのか、ここにいるのが嫌なのか・・・等を見出し、ミーティング、申し送り等で職員間で統一したケアを行う。	2ヶ月
2	10	運営に関する利用者、家族等の意見の反映についてはご家族様宛にご利用者の思いを十分に伝えることが出来ていなかった。	ご利用者とご家族の方が共に安心され喜ばれるよう職員からの連絡手段を増やす。	面会時等での意見や提案を聞くと同時に「グループホーム凜として」通信を発行し、職員ご利用者からの思いを伝える。書けるご利用者には書いていただく。	2ヶ月
3	35	災害対策については避難訓練は行っているが消防署には来てもらっていない。	年1回は消防署に来ていただき立ち合いの元指導していただく。消防署の方にも避難経路を確認していただく。職員の不安を取り除く。	年6回避難訓練を実施する。消防署の方にも来ていただき避難経路、消防器具の使用方法的指導をしていただく。	6ヶ月
4	4	運営推進会議を活かした取り組みではご利用者の方の参加はない。	今後ご利用者の方の参加を検討する。様々な意見交換ができる場を作る。	運営推進会議に行政の参加要請を行い、同時に発言できるご利用者の参加も検討する。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。